

令和5年度匝瑳市病院事業会計決算の概要

病院事務局経理班
0479-72-1525

1 決算の状況

(単位:千円)

	病院事業	介護老人保健施設事業	合計
収 益	2,054,599	613,707	2,668,306
費 用	2,236,919	664,364	2,901,283
差 引	△ 182,320	△ 50,657	△ 232,977

繰入金	450,954	28,033	478,987
差 引	△ 633,274	△ 78,690	△ 711,964

病院事業においては、5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行後もその影響は続き、入院患者数は増加に転じたものの、外来患者数は僅かに減少した。医業収益は増加したが、新型コロナウイルス感染症対策の補助金やワクチン接種による収入が大幅に減少し、収益全体では前年度と比較して147,945千円(△6.7%)減となった。費用では、給与費や材料費が増加し、費用全体では前年度と比較して37,317千円(1.7%)増となった。病院事業では182,320千円の赤字(一般会計繰入金を差引いた場合、633,274千円の損失)となり、前年度より185,262千円収支が悪化した。

介護老人保健施設(そうさぬくもりの郷)事業では、二度の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の影響を受けた前年度より、入所者数、通所者数いずれも増加した。施設事業収益は増加したものの、補助金の減少により、収益全体では、前年度と比較し4,963千円(△0.8%)減となった。費用では、給与費や経費、減価償却費が増加し、前年度と比較して4,328千円(0.7%)の増となった。その結果、介護老人保健施設事業では50,657千円の赤字(一般会計繰入金を差引いた場合、78,690千円の損失)となり、前年度より9,291千円赤字幅が拡大した。

病院事業合計では232,977千円の赤字となり、前年度より194,553千円収支が悪化した。

病院事業

(単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
病院事業収益 A	2,054,599	100.0	2,202,544	100.0	△ 147,945	△ 6.7
医業収益	1,377,984	67.1	1,367,065	62.1	10,919	0.8
入院収益	692,721	33.7	645,336	29.3	47,385	7.3
外来収益	552,989	26.9	561,414	25.5	△ 8,425	△ 1.5
他会計負担金	52,251	2.6	53,312	2.4	△ 1,061	△ 2.0
その他医業収益	80,023	3.9	107,003	4.9	△ 26,980	△ 25.2
訪問看護ステーション収益	97,335	4.7	92,723	4.2	4,612	5.0
居宅介護支援事業所収益	35,373	1.7	34,623	1.6	750	2.2
医業外収益	543,907	26.5	708,133	32.1	△ 164,226	△ 23.2
他会計補助金	403,880	19.7	373,122	16.9	30,758	8.2
その他医業外収益	140,027	6.8	335,011	15.2	△ 194,984	△ 58.2
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	-
病院事業費用 B	2,236,919	100.0	2,199,602	100.0	37,317	1.7
医業費用	2,022,980	90.4	1,976,792	89.9	46,188	2.3
給与費	1,320,203	59.0	1,275,461	58.0	44,742	3.5
材料費	166,110	7.4	155,560	7.1	10,550	6.8
経費	409,436	18.3	418,069	19.0	△ 8,633	△ 2.1
減価償却費	123,425	5.5	123,539	5.6	△ 114	△ 0.1
その他医業費用	3,806	0.2	4,163	0.2	△ 357	△ 8.6
訪問看護ステーション費用	96,635	4.3	107,436	4.9	△ 10,801	△ 10.1
居宅介護支援事業所費用	34,752	1.6	34,332	1.5	420	1.2
医業外費用	80,496	3.6	79,862	3.6	634	0.8
支払利息	670	0.0	799	0.0	△ 129	△ 16.1
その他医業外費用	79,826	3.6	79,063	3.6	763	1.0
特別損失	2,056	0.1	1,180	0.1	876	74.2
差引(A-B)	△ 182,320		2,942		△ 185,262	

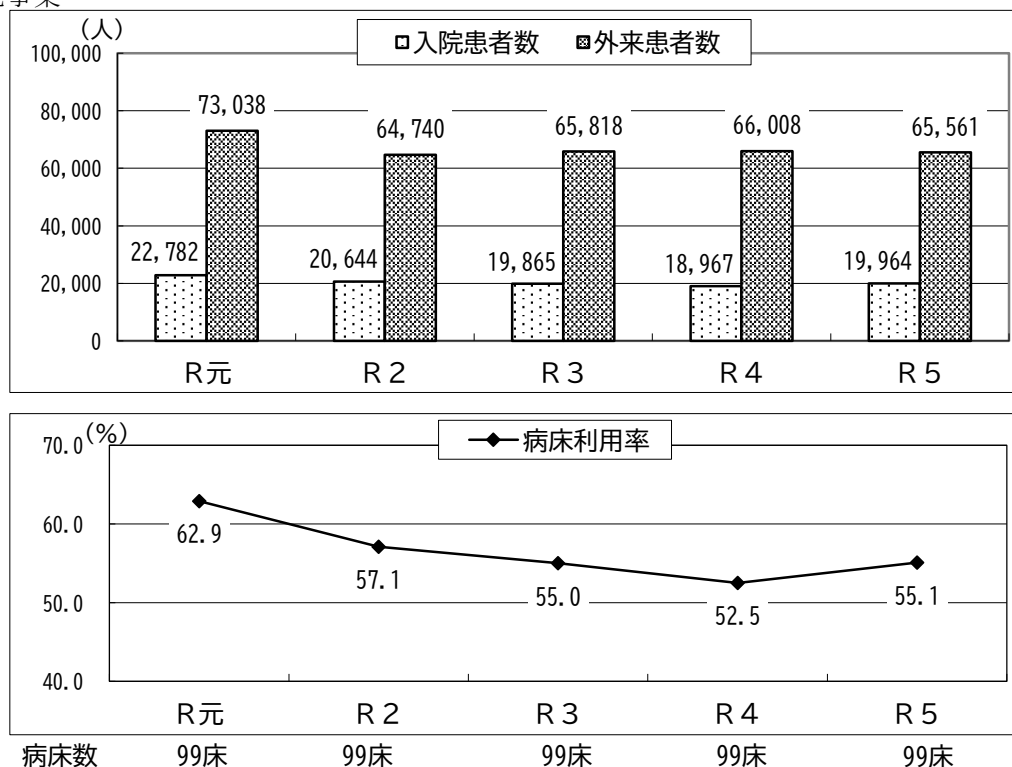
介護老人保健施設事業

(単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
介護老人保健施設事業収益 A	613,707	100.0	618,670	100.0	△ 4,963	△ 0.8
施設事業収益	549,740	89.6	539,880	87.3	9,860	1.8
施設事業外収益	55,838	9.1	70,661	11.4	△ 14,823	△ 21.0
特別利益	8,129	1.3	8,129	1.3	0	-
介護老人保健施設事業費用 B	664,364	100.0	660,036	100.0	4,328	0.7
施設事業費用	639,897	96.3	634,811	96.2	5,086	0.8
施設事業外費用	24,467	3.7	25,225	3.8	△ 758	△ 3.0
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	-
差引(A-B)	△ 50,657		△ 41,366		△ 9,291	

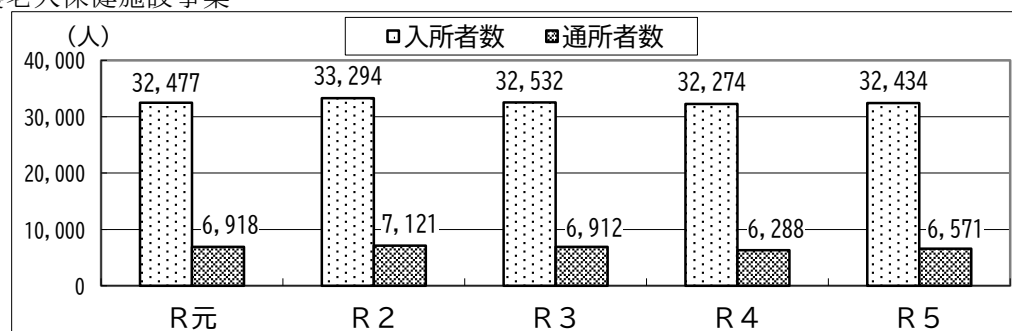
2 患者数等の状況

①病院事業



5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行後もその影響は続き、前年度に対して、入院患者数は、997人(5.3%)増の19,964人、外来患者数は、447人(△0.7%)減の65,561人となった。
病床利用率は55.1%となり、前年度に対して2.6ポイント増加した。

②介護老人保健施設事業

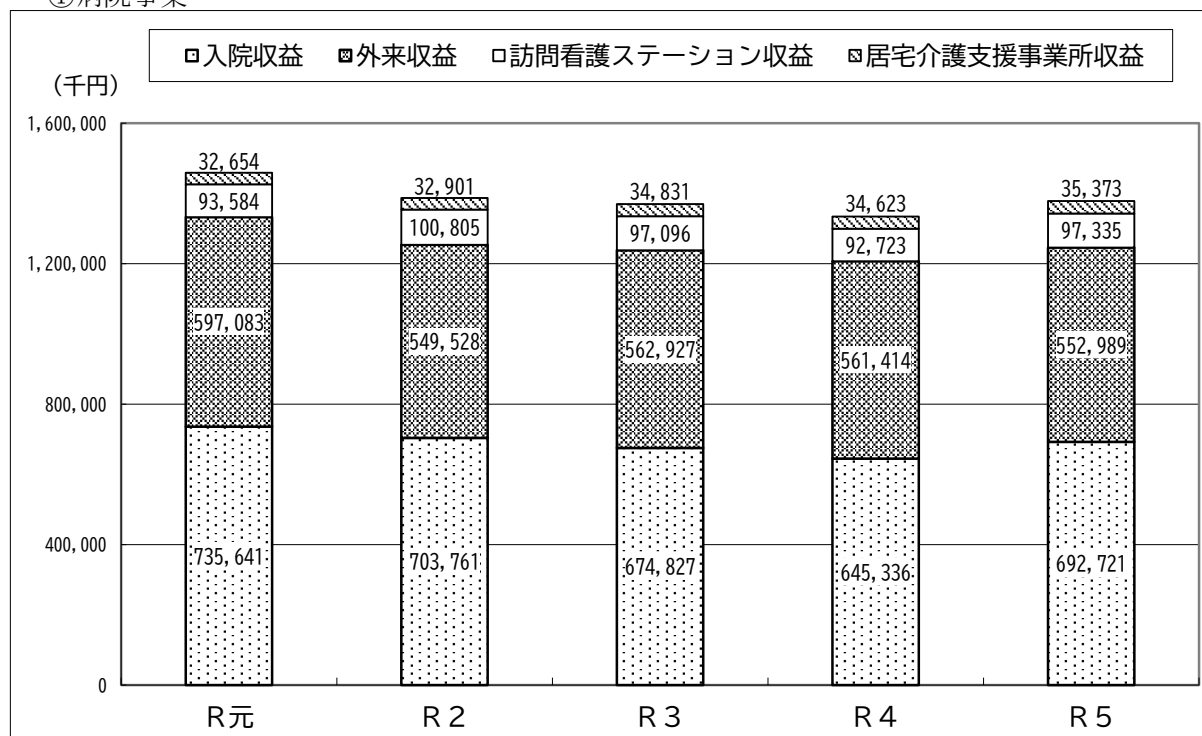


介護老人保健施設そうさぬくむりの郷は、二度の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の影響を受けた前年度に対して、入所者数は、160人(0.5%)増の32,434人、通所者数は、283人(4.5%)増の6,571人となった。

3 収益及び費用

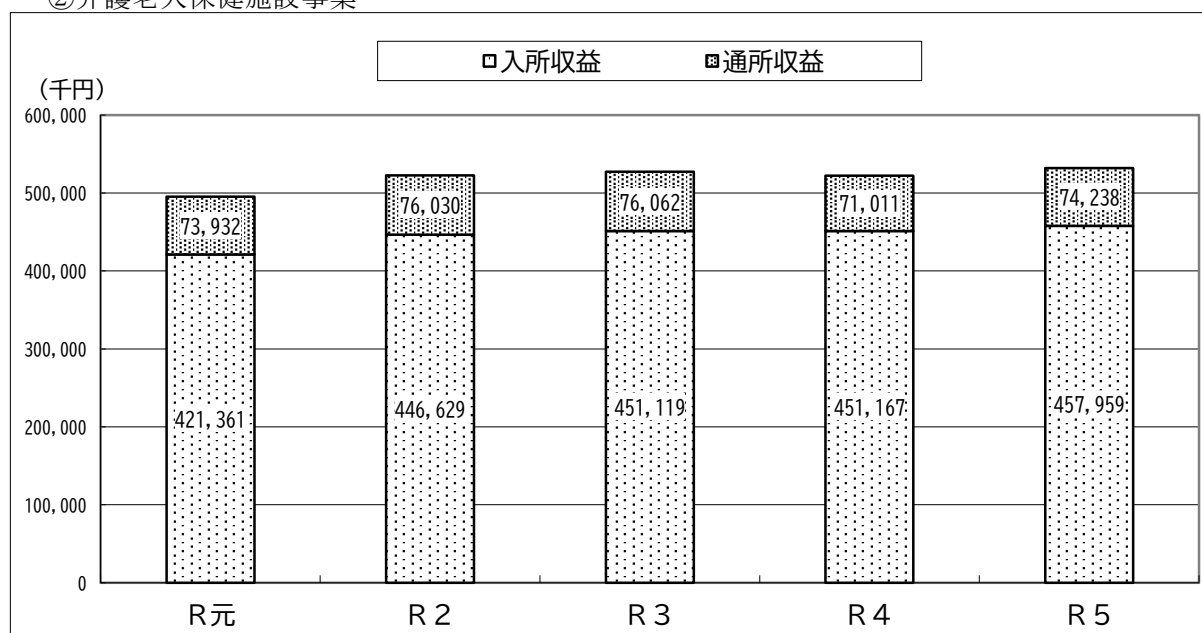
(1) 収益

①病院事業



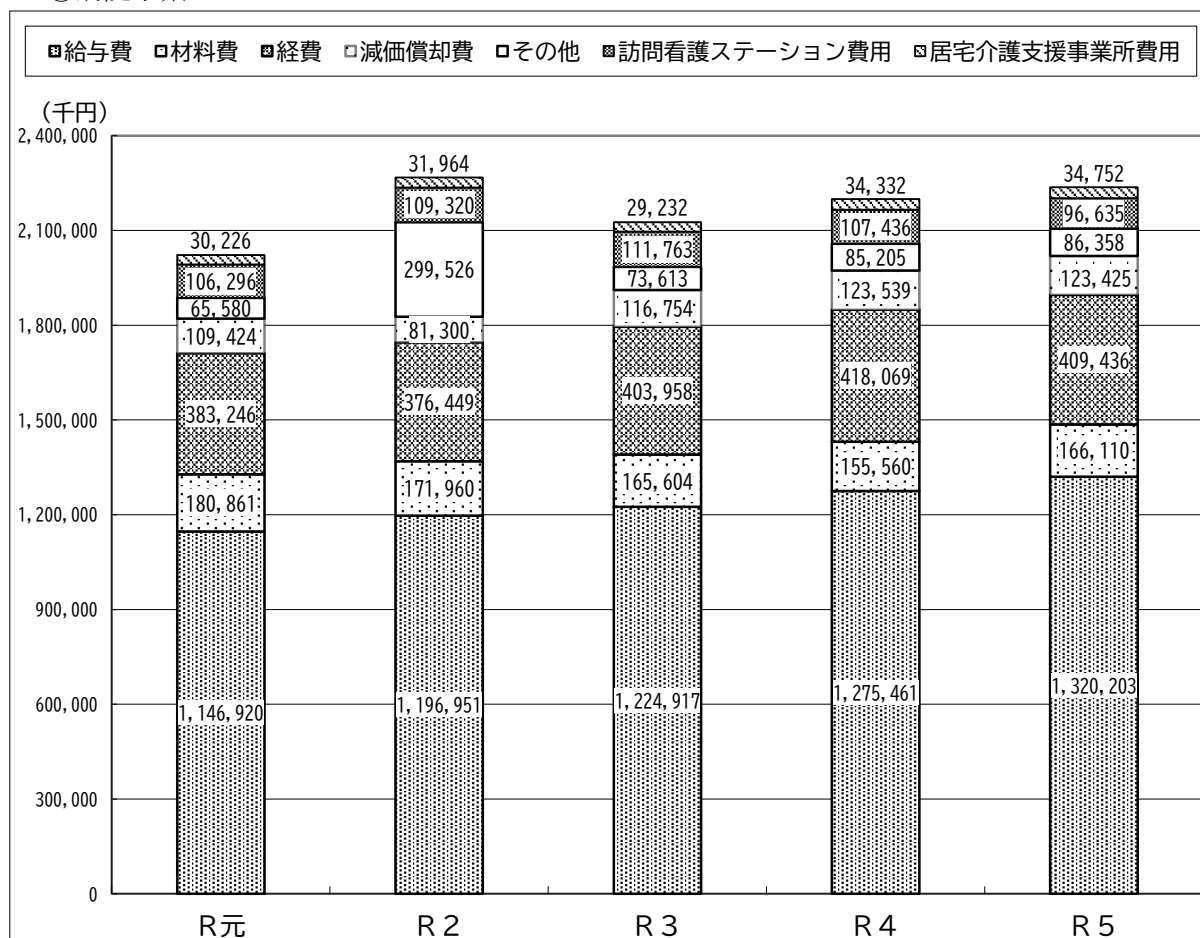
入院収益は、前年度に対して47,385千円(7.3%)増の692,721千円、外来収益は、前年度に対して8,425千円(△1.5%)減の552,989千円となった。
訪問看護ステーション収益は、4,612千円(5.0%)増の97,335千円、居宅介護支援事業所収益は、750千円(2.2%)増の35,373千円となった。

②介護老人保健施設事業



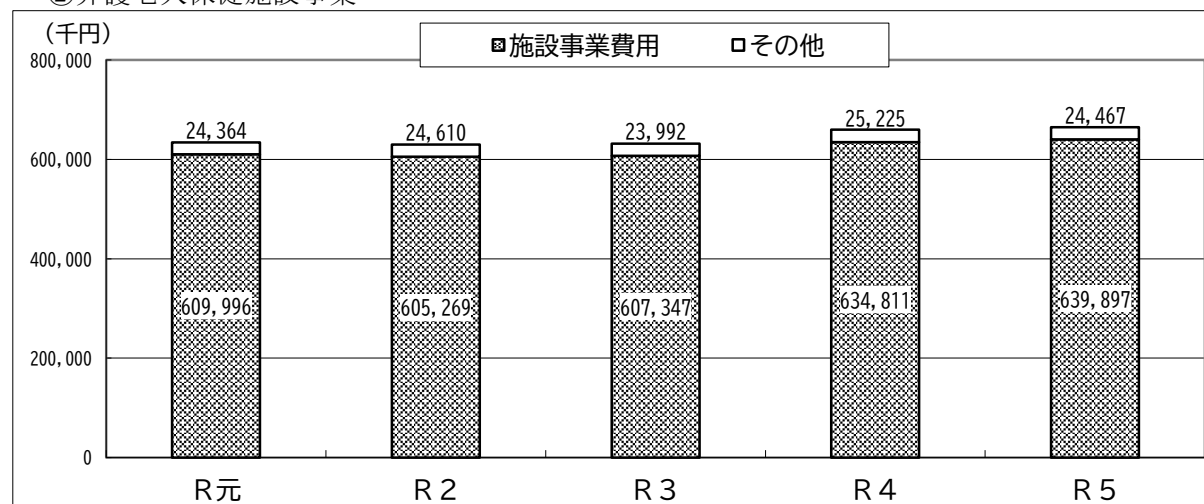
入所収益は、前年度に対して6,792千円(1.5%)増の457,959千円、通所収益は、前年度に対して3,227千円(4.5%)増の74,238千円となった。二度の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の影響が大きかった前年度より、利用者数が増加し、収益は増加した。

(2) 費用
①病院事業



給与費は、給与改定等により、前年度に対して44,742千円(3.5%)増の1,320,203千円となった。
 材料費は、薬品費が増加し、全体では10,550千円(6.8%)増の166,110千円となった。
 経費は、委託料は増加したが、修繕費や光熱水費が減少し、前年度に対して8,633千円(△2.1%)減の409,436千円となった。
 訪問看護ステーション費用は、職員数の減少により給与費が減少し、10,801千円(△10.1%)減の96,635千円となった。

②介護老人保健施設事業



施設事業費用は、給与費や経費、減価償却費が増加し、前年度に対して5,086千円(0.8%)増の639,897千円となった。
 施設事業外費用は、前年度に対して758千円(△3.0%)減の24,467千円となった。

4 経営指標の状況

(単位:千円、%)

区 分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R4年度 全国自治体 病院平均
経常収支比率	97.3	103.6	100.2	98.4	91.8	103.4
医業収支比率	78.8	74.9	72.8	69.2	68.9	90.9
医業収益に対する職員給与費	77.4	84.4	85.6	90.6	91.5	55.1
医業収益に対する医療材料費	11.4	11.5	10.9	10.5	11.1	25.1
1床当たり繰入金	5,545	5,591	5,313	5,490	6,058	4,194

(地方公営企業決算状況調査)

* 経常収支比率＝経常収益／経常費用

* 医業収益に対する職員給与費＝職員給与費／医業収益

* 医業収支比率＝医業収益／医業費用

* 医業収益に対する医療材料費＝医療材料費／医業収益

* 1床当たり繰入金＝繰入金／病床数

経常収支比率は、医業外収益の減少と医業費用の増加により、前年度より6.6ポイント低下し、91.8%となった。

医業収支比率は、医業費用の増加により、前年度より0.3ポイント低下し、68.9%となった。

医業収益に対する割合は、職員給与費が91.5%で前年度より0.9ポイント上昇し、医療材料費が11.1%で前年度より0.6ポイント上昇した。

病床1床当たりの繰入金は、前年度より568千円増の6,058千円となった。

5 貸借対照表(令和6年3月31日)

資産の部

区分	金額
1 固定資産	
(1)有形固定資産	
ア 土地	179,587
イ 建物	692,969
ウ 建物付属	235,262
エ 構築物	4,760
オ 医療器械	176,120
カ 器具備品	104,602
キ 車両	6,833
ク リース資産	44,042
ケ 建設仮勘定	26,903
有形固定資産計	1,471,078
(2)無形固定資産	
ア 電話加入権	875
イ ソフトウェア	39,940
無形固定資産計	40,815
(3)投資その他の資産	
ア 長期前払消費税	19,583
投資その他の資産計	19,583
固定資産合計	1,531,476
2 流動資産	
(1)現金預金	288,950
(2)未収金	320,853
(3)貯蔵品	7,152
流動資産合計	616,955

負債の部

(単位:千円)

区分	金額
3 固定負債	
(1)企業債	579,595
(2)リース債務	26,843
固定負債合計	606,438
4 流動負債	
(1)企業債	144,993
(2)リース債務	13,954
(3)未払金	80,779
(4)引当金	104,767
(5)その他流動負債	14,760
流動負債合計	359,253
5 繰延収益	
(1)長期前受金	1,486,767
(2)収益化累計額	△ 1,086,338
繰延収益合計	400,429
負債合計	1,366,120

資本の部

区分	金額
6 資本金	3,289,264
資本金合計	3,289,264
7 剰余金	
(1)資本剰余金	
ア 受贈財産評価額	112,507
資本剰余金計	112,507
(2)利益剰余金	
ア 減債積立金	2,500
イ 建設改良積立金	9,000
ウ 当年度未処理欠損金	2,630,960
利益剰余金計	△ 2,619,460
剰余金合計	△ 2,506,953
資本合計	782,311

資産合計 2,148,431

負債資本合計 2,148,431

資産合計及び負債資本合計は、それぞれ2,148,431千円で、前年度と比較すると323,517千円の減額となった。

資産の部のうち固定資産合計は、前年度に対して106,281千円減の1,531,476千円となった。

流動資産合計は、前年度に対して217,236千円減の616,955千円となった。

負債合計は、前年度に対して112,899千円減の1,366,120千円となった。

資本合計は、前年度に対して210,618千円減の782,311千円となった。